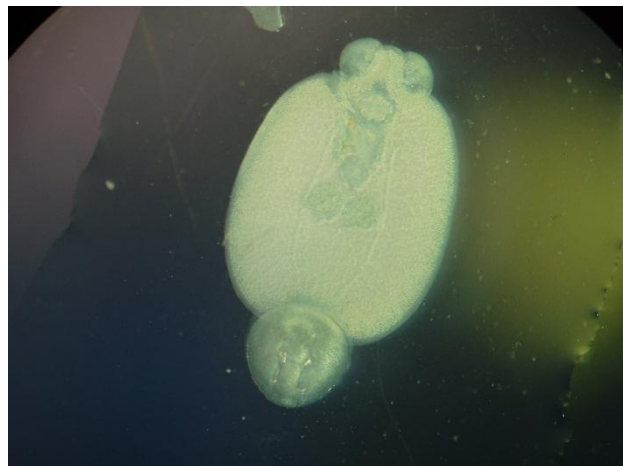


# ハダムシ症 (benedeniosis, neobenedeniosis)

*Benedenia seriolae*, *Neobenedenia girellae*, *Benedenia sekii*



マダイの体表に寄生する様子



体表から取り外したハダムシ

## 発生生態

京都府では本虫による被害は主に7月から10月までの水温の高い時期に見られます。宿主魚はブリ、マダイ、クロダイ等です。ふ化した幼生は遊泳し宿主魚に取り付き、体表上皮を摂食します。その刺激で魚は網に体表をこすりつける行動をとりますが、それにより傷口が拡大し、細菌による二次感染を起こすこともあります。

## 防除対策

寄生を受けた場合には、魚を5～10分淡水浴することにより駆虫します。魚種によっては指定の水産用医薬品による駆虫も可能です。本虫の卵は生け簀の網地に絡まるため、次世代の虫体による再感染が起こる確率が高くなります。そのため、寄生の予防や再感染の防止には定期的な網替えが必要です。